御座いました。

斯かる重要諸案件が、お

様で、

つゝがなく完結し

段落を告げましたのと、

かねて 長浜

の調整配分、之に伴う人員

に各支所に於ける分担事務

が審議され、

更に又本庁並

施工中でありました、 恰も時を同うして、 既に四ケ月を經過致しまし

した我長浜町も、発足以米

の選挙が相ついで行はれ、

方では、その間げきを縫

昭和三十年度予算案

地方自治の方向を决すべき

知事選挙を首め

重大なる意義を持つ、六つ

0

意を結集して合併を遂げ

新春を期し、皆様万の

定

長

浜

町 永

長

まして、御同慶に堪へぬ次 会し、この祝典を挙行する ことに相成つたので御座い ことに相成つたので御座い

末

芳

朗

第で御座います。

つての多採な行事がくりひろげられた。日間祝賀飛行、仮装行列、町内運動会等町屋里に祝賀行事については二日、三日、四月、北り萬蔵三唱、簡素なうちにも盛会に終了。

四日の三

がくりひろげられた。装行列、町内運動会等町民とぞ

より萬蔵三唱、簡素なうちにも盛会に終了した。に対する生徒代表謝辞、最後に県総務部長唱和に

が贈られ、来賓祝辞がありついで長浜中学校落成促進協議会長以下委員七十二名に町長より感謝状 者として、喜多地方事務所長及総務課長並に合併

各関係者多数の来賓を得て、 て盛大に挙行された。

町長式辞、

議長挨拶、工事報告(別記)合併功労

替へ、

5.落成、白滝上水道竣工の合同祝典は去る五月二次落成、白滝上水道竣工の合同祝典は去る五月二次新長浜町開町祝賀式、長浜中芎ホランル

は、

開 配 賀 无 典 3 発 行 所

愛媛県喜多郡 濱 町 役

U,

岸本印刷所

政策とに、俟たねばならぬ れた意識の上に立つ、

従前の地方行財政の在り方 への基盤をなすものであり まことに町村合併 国情に叶うた方向へ切 我国地方自治体再編成 0 言葉に代へたいと存じます町のいやさかをことほぐ、切にお願び致しまして、新 この大事業完遂の决意を、 全町民支持の下、精進一途 私は本日の祝典に際し、 来賓各位の絶大なる御支援願くは、御ひ臨を得ました と御激励を賜はらんことを 新にするもので御座います 次に、 ·業について、一言 共に本日慶祝され

自主自立を期せんとする畵 の適正規模の上に立つて、 各市町村が、 当地方に在 各々そ ます。ことに至ります迄に新築落成を見たので御座い犠牲的奉仕により、美事に 工事施行者、一宮工務店の面の御協力御援助と、特に面の御協力御援助と、特に長浜中学校は、一昨年末 は幾多、 ます諸事業について、 御披露申上げます。 難関にも逢着致し

その向ふ所を誤らず、次の合併の本質をぎよう視し、 期的なもので御座いまして るべなき強固な礎を打固め時代をつぐ人々の為に、ゆ 基本的国策に順応すべく、情を克服し、ひたすらとの 之を引継くべき、 それ政にこそ、 大同団結が行はれたので御 りましても種々困難なる事 私共は皆様と共に、 ひたすらこの で次ゆる との や見舞金品、 から寄せられました激励文 ましたが、 罹災当時各方面

座います。

重大責務 の復興の一日も早からんとら、母校の焼失を嘆き、そら、母校の焼失を嘆き、そ大阪の美容院に弟子入りさ 公司君から俸給の大半を割 横須賀簪備隊所属の、 心からなる見舞金、又港町県焼津市川西一郎氏よりの 浅田辨治郎氏の娘さんで、 いての復興資金寄贈、静岡 別して、 遠く 安部

は御協力贈りました皆様方へられぬ純情の数々に鞭打へられぬ純情の数々に鞭打れたのでのでいまして、私 る次第で御座います。 小さい火がともされる思ひ思ふと、私の一生の小道に の出来ないことを残念に思 ひます 一枚でも買つて下さい。ますが、此の金でガラス す」と寄せられた復興資 いますので沢山のお手伝「私は美容の弟子に入つ しでもお手伝ひ出来ると 厚くく 今日の歓びをお伝 るところであります。

この地方の環境衛生の面にであり、簡易水道の完成はであり、簡易水道の完成は 新機抽を打ち出したものと 又白滝保育所の落成は、 直接間接に生活文化

途を祝福すると共に、町の発足を記念し、そ

に、各種に

うい

*

本日は、此の意義深き新

易な業ではなく、 ので写座います。 ることを痛感するも 今後人々

と存ずるので御座います。 積極 途 式典に対する式辞と致しま その生々発展を祈り、 するもので御座います。 各種事業の完成を寿ぐ、 するが、 て、

のよそほいにきらめく海の山も、新緑に覆はれ、初夏 限りなき祝福を投げかけて 色も新生長浜町の前途に、 いるかに相見へます。

切にく、祈念するもので御て、躍進大長浜町の実現を民の惜しみなき御協力を得 座います。 満堂の皆様を首め、 全町

御

挨

挨 長浜町議会議長

宮

龜久

とを祈る切なる願ひと共に を挙行するに至りましたこ 学校落成、白滝保育所落成行すると共に併せて長浜中 長殿を始め来賓多数の御臨 とは、私共の最も欣快とす の合併成りその祝賀式を挙 本日茲に知事代理総務部 長浜町外五ケ村

文化の発達に就ましては地

まして此の時に当り諸事業

れるものい喜びが皆様と共れるものい喜びが皆様と共 したばかりでありまして、 長浜町は本年一月一日発足 長浜町は本年一月一日発足 いのであります。 るのを禁ずることが 諸般機構の整備民心の宏定 隆盛発達は各部機関の統 に私共の心の奥からわき出 御承知の通り自治団体の 出来な に外ならないのでありました外ならないのでありましたが、安定を期し得るかと言う問題が真剣に研究された結果 うすれば町村民生活の明 すれば町村が立直るか、 もつて来るところは、 表面に聳えて居る人々のみ 位とか名とかを以て社会の

の金言でありまして、 死なざれば良き実を結ぶこ 葉がありますがまことに ととなし」 「一粒の麦、 と言う聖者の言 地に落ちて 待して るものがあると考 て国が町村合併の結果に期

いることは真に大な

るものが御座いませう。の上に及ぼす功績は莫大な

皆様方の深い御理解と強い げられたもので御座いまし 御協力とに依つて、成し遂 も本日お集り下さいました こうした諸事業は、何れ 以上寔に粗辞で御座いま 茲に深甚なる謝意を表 新町発足を記念し 是 本

、致しまして私の御挨拶を終った。 一 典を、心ゆくまで祝つて頂 気と明るい希望とを、吹込 んで頂きまする様、お願い が込まして、新しい町新しい意

大に本行事を終了し得た事は感激に堪へない次行列に演芸に子期以上の熱意が示され非常に盛して町民各位の盛り上る合併祝賀の意慾は仮装ら回挙行いたしました合併祝賀行事に対しま

第であり今後本町育成の為にこの熱意を以つて

御協力をお願い致します

長浜町長

末

水

芳

朗

民各位

雄 宇余曲折があり、六十有余のこの盛典の蔭には幾多の としで永久にその挙を讃えの方々こそ大長浜町の礎石 なのであります とを一擲して大乗の道に 閉ずる淋しさや行績と地 年の輝かしい町村の歴史 れた方々も沢山あつた訳 これ等

りましてすべて国家の繁栄 なければならないものでお 次第であります。 頁を綴りつゝあるのであり針に入り、新しい歴史の一 熱情と鉄のような実行力 のでありまして燃える様 命と言うものは実に大き なければならないと存ずる 難局をも突破する意気をも を以て敢然として如何なる つて新しい町造りに挺身し 今や私共は合併の基本方 斯う考えます時我々の使

な と

第七条

して町村合併促進の因つて的に急迫した状態でありま惟うに町村の財政は全国 はないと信ずるものでありによつて企てられるもので ど 現するものと考えられるの本門の建設計畫の将来を示すが、 大杯を挙げて祝すべき時で 特筆大書すべき住き日で りまして、 あります であります。 実に本日は本町の歴史に 全町民こぞつて あ

字通り欣びにたえません。 今此の盛典に臨みまして文 致します。 からずる本職にたづさわり 言燕辞を述べて御挨拶と 不肖浅学菲才を顧みずは

建設委員代表

時

総大なる御協力はもとより おしだことは 町民各位の けんことは 町民各位の 対のであるに至り落成式を 宮工務店、菊地組の卓越す る技術をもつてその施行に 県係官の御指導と施行者一 本日の吉日をト 白滝簡易上水道の 長浜中学校、 しまし

4 建設総工 おの通り報

御同慶に存ずる次第で御座 深甚の謝意を表すると共に 保育園、 アイア、 います。

昭和二十九年五月十一日一長浜中学校復旧新築工事

工業

三階建

竣功

和 無筋コンクリート 和三十年四月三十日

· 建築 華通教室 普通教室 五五 五五室

標記については本

昭

和三

年三月三十一日附を以つて県医師会長との間に協定成立調印を

年度国民健康保険診療協定締結じついて今へ

得た旨通知があつたので左記の通り公示します

臣

浜

町

媛県内の保険者(以下 終り知事の認可 愛媛県国民健康保

協

険団体連合会理事長(以下甲と

いう)は国民健康保険法に基く愛

和三十年四月十三日

(紙面の都合により ・一年五月二日 ・一年五月二日 ・一年五月二日 ・中間省略) ・中間省略) 第三条四、 二、

第二条 条

行う療養の給付を担当しこの協定に従い丙の被保険者の疾病又協定の国民健康保険療養担当者は愛媛県医師会員に限る。 (その会員(以下丁という)の代表として乙との間に次の通り協定以下丙という名簿別表の通り)の代表として、愛媛県医師会長(以下丙という名簿別表の通り)の代表として、愛媛県医師会長(

9 11. adž

する。 以下乙という) 前条に依 丁は丙の

対し診療を行う。

り丁の行う診療の範囲は次のとおりである。

投薬、 処置、手 診察(往診、宅診、但し健康診断を含まない) ネ、コル 術その他の治療(温泉、その他転地療養を含まない) 「方箋の交付、注射、薬剤治療材料の支給(治療材料中矯正メガ

入院診療 セツト、体温計、吸入器、氷のう、水枕の類を含まない)

丁は丙 被保険者の診療に当つて次の事項を遵守するものとする。

被保険者 が止んだ後速かに受診証を提示させること。 険者が止むを得ない事由により受診証の提示が出来ないときは ける資格のあることを認めた後診療を行うこと。より診療を求められたときには、その提示する受診証により、

三 導して速診療上被 その事由 但し被保診療を受 被保険者 ために必 保険者を移送する必要があると認められたときは被保険者を指 要な証明書又は意見書の交付を求められた場合は無償で直ちに から丙の定めた保険給付は規定により保険給付の支給を受ける かに所定の手続きを執らせること。

第四条 떽 の方法に を記入し 被保険者 これを交 の支払については次の手続を経るものとする。依る。但し往診料に関しては地方的に協定することができる。 協定により丁に対して支払う診療報酬の算定は健康保険と同一 被保険者に返還すること。 の診療を終つたときは、 付すること。 但し診断書を含まない。 受診証裏面療養給付記録欄に所要事項

第六条 第五条 一、丁は別に 診療報酬 診療報酬 日までに 『の請求月より四月を経過して、なお支払を完了しない保険者に 定める様式に従い診療報酬請求書を作成し診療をした翌月の十 との協定に依る診療を停止することができる。 愛媛県国氏健康保険診療報酬審査委員会に提出する。

ら収納, 丙の定: ししめ窓口払の遅延を防止し未払ある場合は丁の請求により丙が被保険部負担金の窓口払については、丙は予め被保険者に対しその旨を徹底・収納し、その状况を明らかにした記録書類を備え付けるものとする。然については丁はその一部負担金を診療の都度診療を受ける被保険者か る条例において一部負担金窓口押の定めある丙の被保険者の診

第八条 丁は一部 者に代つ 場合には 部負担金减額(免除、支払猶予)証明書を添えて丙に請求する一部負担金の額を診療報酬請求明細書に記載すると共に丙の発 の請求を受けたときはその診療報酬の審査が終つた後、当該被 負担金の减免又は支払の猶予を受けた被保険者の診療を行つた て丁に支払ふものとする。

ばならな 保険者に でした一 診療について記録書類をその完結の日から五年間保存しなけれ 代つて丁に支払をする。

第九条 第十条 受診証を |持参して診療を受けた場合資格喪失者(転出者を含む)であつて

第十一条 第十二条 養の給付 、例で定める一部負担金の割合、 その支払方法、給付期間及び療 般被保険者に対すると同様の責仕を負うものとする。

2、前項の場 甲はそ の会員について異動のあつた場合及び別表記載事項の改訂があの範囲については、別表添付のとおりである。 は速やかに乙に通知しなければならない。

第十四条 この協 とする。但し有効期間満了一ケ月前までに甲乙何れからも意志定の有効期間は昭和三十年四月一日より昭和三十一年三月三十定に定めない事項については必要の都度協議してこれを定める。合乙は丁にその旨連絡すること。

表示をし のとする ないときはこの協定は更に引続き一ケ年間その効力を有するも

昭和三十十三月三十一日右協定の確実を証するため するため本書弐通を作製し双方連名調印の上各一通を所持する

 $\widehat{\mathbb{Z}}$ 軍 昇 玉 井 田禹 吉 栄 郎

のであります。

愛媛県国民健康保険団体連合会理事長

健 康 文 F な 環境 生 0 活 善 11

カュ

5

進

風薫る五月五

了

私達は最も身近な環境衛生の改善と併せて、悪疫発生に最適のシーズンかと思われますとき………… たの頃の気候不順は、種々の意味から流行性伝染病本年も愈々夏季に入り、梅雨期を間近かに控えて を図りたいと思います。 流行の阻止につとめ、 左記事項の実践に努力いたしませう。 一層地域社会の健康保持増進境衛生の改善と併せて、悪疫 皆さん相互に協力して、

③便所の汲取口やごみ箱棲む親バエの徹底駆除。 ②屋内温い場所、 ①住宅内外の常時清掃の 実 践 項 畜舎等

はあるの場所に対する薬剤 (対の発生源となる、水 (対の発生源となる、水 (対の発生源となる、水 (対の発生源となる、水 ⑤薬剤及び器具によるネ

ŋ

ズミの

駆除、

頓による健康的な生活の習の室内家庭用品の整理整 見除去。 け、戸障子の開放、フトの日常起床と同時に、窓

日光消毒を行う。 毛布乾しなど、 寝具の

① 勝チブス等の予防接種には必ず注射に出かける事の時に予供の変痢の原因 所特に予供の変痢の原因 が特に予供の変痢の原因 の特に予供の変痢の原因 の特に予供の変痢の原因 の特に予供の変痢の原因 の特に予供の変痢の原因 手洗いの励行、食器の洗滌の一家揃つて、毎食事前

申込期限 六 月 4

ネズミ巣の発 こと極めて大きいものがあ活は水の良否に影響される 啃 に注意致しませう。 と言う観点から左記のこと ります。 は「良い水は健康のもと は「良い水は健康のもと をつゝしむ事。 以上 ②水源池に於ける遊泳、①水道水濫費の自粛。 皆さんもう一 放棄行為の禁 つ水と生活

ける水の濫費の自粛。 上

長

濱

町

婦

議

午後は県教育委員会事務

お 5 난

すから、それぐ、本庁並 が購入の取計いを致しま が成れる。 ない消毒用薬剤の御入用 さい。 びに各支所にお申出で下 皆さんの御家庭で殺虫 海婦人会長經過報告、会則長となり議事進行、石山出長となり議事進行、石山出 員長、 員三百二十名、来賓として町役場会議室に於て婦人会 大に挙行された。団長等多数の列席を早て盛 社会主事、町教育委員会委 末永町長、教育事務所山中 絡協議会の結成式が、長浜母の日をトし長浜町婦人連去る五月八日記念すべき

教育長、町連合青年

せる。

よい

社会を作る力となりま

H

記方々が就任された。

清水アサカ

(長浜婦人会長)

審議後役員の選挙を行い左

健康優良兒の表彰

兒 童 福 祉 高大洲保健所の 関ロ氏より、育 重の幸福を期待 すると共に、母 を選出表彰 子保健の向上に

|月出生児 月出生児 地区健康優良児名 昭和三十年度長浜 宮本伊勢雄(父勝義) 鈴子(〃秀幸) 白黒出滝田海

沖浦

須藤なぎさ(〃 菊地普吾(母佳津子) 恵子(〃政 宗武(〃郷夫) 享彦(父 正 森

青島 出出海海 長浜

版田

畑中

長浜

鎌田

三月出生児

長櫛出櫛 浜生海生 六月出生児 浜大永宇 田森沼都 宮 藤 武田田

白長滝浜 丸田徳太郎(〃

長青櫛浜島生 沖浦 村本美和子(〃善人) 常 親(〃達夫) 宮 親(〃達夫) 広見(〃義徳) 吉隆(〃隆善)

大田徳太郎(〃改猶) (川徳太郎 (〃 秀) (〃 秀)

康優良赤ちやんに、長浜地区健 コンクールを開 日のとどもの 左の方々

白滝 櫛生 出海 菊地

出 清孝(〃正幸)

出長海 浜

白滝 宇都宮辰生 西岡

十月出生児 九月出生児 亀岡

英子(〃政光)利昭(〃新吉) 鉱嗣(〃芳正) 恵子(母睦子) 毅) 大和 白滝 白滝 増田

長長浜 長 出浜海 白長衛滝 浜生 四月出生児 宮坂 三 土 居 亀 山田田 久保田るみ(〃

五月出生児 生 松並 洋道(〃 定) 海 谷口 恵子(〃豊忠) 海 谷口 恵子(〃豊忠) 修(〃態夫)

大 出 和 海

長出長浜海浜

| 七月出生児 出生児 早苗(〃

孝俊(〃 啓) 養明(〃元雄)

稲田 義明(〃元雄) 山口悦子(〃喜久夫) 良文(〃幾夫)

酒城 匡(〃茂基) 石丸まゆみ(〃英雄)

宇都宮絹枝(《正照) 越智 宏(《光親) 田中 寛子(《 勝) 哲広(〃富貴雄)

滝九七、 しております。

新

宇都宮辰生(父清身)

沖浦佐々木恵子(母キク子) 矢野みどり(〃慶勝)今西 恒次(〃敏満)

平(〃幸衛)

ぬ気持で、 なります。

国は次の通りである。 取り、多大の感銘を与へた。 当日宣言決議された事 治当日宣言決議された事 れまし 次の方々がそれぐ、表彰さ 出海消防団出初式において三月二十七日挙行された

の地位の向上を図つてより一、婦人の特性を発揮しそ 県消防協会長表彰 京村 武夫 塘

一 の封建性を改めませう。 と子供の権利を守つて社会 一 一、憲法で保障された婦人 社会の動きを正しく判 那消防連合会長 地田 喜美夫 前野 久島 木村 金嘉 浜川 健 大月 第五

有権者数

会的な活動を盛んにしてお一、婦人の教養を向上し社 的に行動する力を養いませ男性の無理解をといて自主断し知性を磨き愛情に生き 互の幸福の為に社会環境の 長より感謝状が贈られた。 々に、大洲警察署長並に町 々に、大洲警察署長並に町 大洲警察署長 尚当日去る昭和二十九年

改善の実を挙げるようグ 改善の実を挙げるようグルはかり婦人を解放して生活 社会の民主化を 町 鈴木 小野 蒼田 長 佳輝 千賀男 光男 千賀男 豊

大 小 田 野

正章 要寿

昭和30年5月20日

拝読し私の感じた点を申上国民健康保険について」を御発行の町の便りの焦点「

今日は人の身、明日は我身多いかを目の当り見る時「人往とうとする人の如何に

潛記

侃子

浄化運動に努力しま

家庭、

の身、明日は我身日の当り見る時「 全く戦々兢々と

玉

氏

いて

K

寄

世

て 清

副

小泉

(相生婦人会長)

堀内

貞子

長浜婦人会副会長)

旧長浜町青年 健康保險につ 先月号町の便

b

べき最

活から落伍して行つた一が出事ないで次々と社最底の生活をも推持す

様な措置を構じて頂き度いに浴し安心して生活出来る

くとの国民健康保険の恩恵

喜びに堪えません、速やかは前途に明るい希望を感じ

会の委員も决定しました事

に長浜町全地域に国保の恩

る次第です。

測の事政の為保証せられ 事は出来ません。病気や不日として安んじた日を送る

お願いしたい事は私共も早そこで私は当局の人に特に

浜町国民健康保険運営協議幸い新町の発足につれて長

係

ŋ

る事と思います。

過して居られる方は沢山あ

事であります。

の出費に備える充分な貯え

す。この様な思いで毎日を想像もつかない事でありま

した日常で生活を楽しむ等

平井志佐子

(白滝婦人会長)

(豊茂婦人会長)

人であります。常に不時

双手を挙げて賛意を表する

私はこの御意見に

一の喩え、

監事

西岡

澄子

長浜婦人会副会長)

を持つ余融の無い私共は一

をか、も早くしたいと考えいし、与論によつてこの実現町民各位の御替同をお願 斗をお願い致します。 高三鈴蒼鈴岡河木田木 猪四男 男

出初式に於て表彰された者去る五月十五日白滝消防団 愛媛県知事表彰

石坪大清佐山田野水野

●○●○○●● Ŋ

投票者数 投票率 投 87%

3.886 3.361 728 886 1.574 1.392 711 795 988 1.707 2.048 1.818 9.711 11.096

を次の通り决定した。を開催委員長及び副委員長を開催委員長及び副委員長を別の委員会を開催委員長の関係を表した。 委員長 足利良音

愛媛県消防協会長表:一宮亀久雄 彰 町長表彰 小西 利勝

より表彰された者 会議に於て全国消防協会長 去る五月二十七日県消防 五宛 四三 発締 六その他

先

表切

櫛 生 出 海 和 大 白 滝 副委員長 小野善三

選挙区別

多 灘

浜

長

喜

喜多郡消防団連合会長表 山山奥大鎌河本本野西田村 亀武 義 久 延俊正矩実夫登

正千幹 通重喜 表代男 幸利通 元櫛生村消防団長

昭 和三十年 議会議員選举長濱町 四 月二十三日執行 選

举

圖

82 88 89 89 88 87 有効投票数 得票数 無効投票数 举 結 果 九九 六八四 二七四二 調

三、五、 四六二票 三三九票

町教委會委員長决る 区

宣 傳 ボ ス ター 懸賞募集

昭和三十年国勢

調査

賞募集いたします。 力をいただくため宜伝用ポスター原図を左記により力をいただくため宜伝用ポスター原図を左記により合う教十月一日に行われる「国勢調査」に全国民の御 応募要領 るもの国勢調査」の意味を表わす独創性 懸○

入計東す昭昭 円 選局京 和 三十 第一名 三 十年年 (3)名三万円二等二名一万円三等三名五ピア数字にても可)と(数字はアラ文字を必ず記入のこと(数字はアラ文字を必ず記入のこと(数字はアラットを表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を 原 すること 俗B3大の画用紙を用い三色以内

たしません総、内統計局の著作権は本局に帰属し応募原図 込局区内)新宿区若松町総理府統 六月末までに応募者に通知しま六月十五日(当日消印有効) 宮杉立 藤丸鎌永松 岡又田井本 崎元花 西 百 竜 茂 所 関

西

ななななななななななななななななななななななな W 建設 納 理につ Ų,

等な福利と義務の遂行とそ今後の町発展の基礎たる和 成績が下がつておりますが今後納税組合の拡大強化に 過去例年にない好成績を收めることが出来まして感謝 完納の大目標に邁進致しませう。 じます。新町建設の大切な財源であり、新町住民の均 の精神培うことになると存じますので、 出海が完納で一〇〇%、次いで大和九八、八三%、 期分納税については。 昭和三十年度第一回目、 他地区と足並の揃う線まで御努力願い度いと存 二二%となつております。本庁関係分は稍々 特に支所関係に於ては、 町民各位の絶大な御協力により 四月徴收の固定資産税第一 全町そろつて 喜多灘櫛生、

(仁久) 長浜地区

ク 鉄 筋 コ

一二戸

即時

武田 大畑·君衛 登 登

建設場所

住宅別

家賃額

入居の時期

さい

尚今迄に申込され

紙にて六月十日迄

に申込んで下さい。

た方も改めて申込書を出して下

清水

益 忠 雄 男 潔

山本仁左エ門三〃

長女

者は役場及各支所備付の申込用

住宅入居申込受付を左記により

受 居

什 申

始

出

本庁関係分

現在建設中の町営 行いますから希望

町

營

宅

区(今坊)

"

Ŧī.

木造災害 木造第二

種

二戸 六戸

> 四八〇円 一五〇〇円

善広

長男

長女 二男

周満市喜

周克

作彦

長男

出海地区

"

九四

戸

武金亀松内 井岡岡

実衛 六海

戸 戸

櫛生地区(沖浦)〃

入居資格者

町内に住所又は

基準の收入のな毎月公営住宅は

勤務場所を有する者であること

池下音五郎 中永 正勝

二長三男女男

利恵則

所関係

更に本月末を以て昭和二十九年度会計の出納閉鎖と 二十九年度以後の滞納税については、各旧 合併新町の将来を益々強く明るくする様整 立つ鳥後を濁さ

理について格段の御努力と御協力を御ねがいします。 町村の責任経理の範囲に属しますが、

票票票 其の他 をなしたものと認めた場合は入居决定を取消する 希望は認めない)ロ、実態調査の結果虚偽の申告 納したものであること。 住者で二十九年度町民税額三六○○円以上で完住者で二十九年度町民税額三六○○円以上で完成が、保証人二名を要する。但し保証人は長浜町在 昨年の十二、十五号台風の罹災者であること。ること。但し災害住宅については当該地区内で1、現に住宅に困窮していことが明らかな者であ 婚姻の予約者を含む)があること。 婚姻の関係と同様の事情にあるものその他 関係と同様の事情にあるものその他 イ、申込は希望住宅一ケ所に限る(第二

シコ

代子弘

長濱町 南東面戸人 北西積数口 現 一、〇、七一九 四、一九九 四、一九九 四、一九九 平方粁 (昭和三〇 呵

一現在) 丸 菊泉 増又 岡田田 古幸成洗茂雄虎 増夫 大和支所関係 出海支所関係 川海支所関係 四 通 和 長二長二 女男女男 幸 美栄恵

浜川

通勝ゆよい

白滝支所関係 子德 穂

川大小不窪徳久 谷村塚西老 田保淵恒 由 平茂克一長比武八三安 馬郎幸古夫郎雄 夫 三長三長長長二 三 〃女男女〃〃〃 男 八早希由俊憲潤 重 佐 子苗夫紀一治一

V 死 久岩西

櫛生支所関係 保 勉

重五愛 次郎治 郎一郎

温暖

二月屆出分